

# 令和5年度 都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会

令和6年2月23日(金・祝)  
13:30~15:00  
日本医師会館 3階小講堂・ホール

## 次 第

- 1 開 会 細川常任理事
  
- 2 会長挨拶 松本会長
  
- 3 役員紹介 猪口副会長
  
- 4 配付資料の確認 事務局
  
- 5 報 告
  - ・ 日本医師会から（能登半島地震対応、医会名称決定の経過 等）  
細川常任理事
  - ・ 死因究明等推進計画について  
厚生労働省医政局医事課死因究明等企画調査室 室長 中野貴章
  - ・ 警察の死体取扱業務について  
警察庁刑事局捜査第一課検視指導室 室長 新倉秀也
  
- 6 都道府県医師会からの提出議題、質問・意見および要望
  
- 7 閉 会 猪口副会長

<進行：細川常任理事>

令和5年度

都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会

令和6年2月23日（金）

13:30～15:00

日本医師会館 3階小講堂・ホール

## 1. 報告

### (1) 日本医師会から 医会名称決定の経過

「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」の業務の整理

- ・ 刑事課、交通課に係る死体検案、検視立会業務
- ・ 留置人の健康管理
- ・ 警察官、警察職員に関する警察産業医
- ・ その他（虐待やDV、性犯罪に関する協力業務）
- ・ 「警察医」という名称については法律上の正式名称ではない、活動実態が地域ごとに必ずしもいっちななどの理由で、使用が難しい。
- ・ 委員会で検討した結果「警察活動協力医会」とすることで合意が得られた。ただし既存組織の名称変更を求めないとした。

### (2) 国における死因究明等施策の推進一厚労省

各都道府県に設置されたがその活動は十分とはいえない

令和6年5月ごろに第2次死因究明等推進計画を策定予定

その中で、大規模災害時の非常時に対応できるように、死因究明等推進  
地方協議会等を活用し、平素から各都道府県の医師会、歯科医師会を  
始め警察、保健所、郡市区等の医師会、歯科医師会等の実務を担う関係  
者が日ごろから顔が見える関係性の構築に努めることが重要  
死因究明等に係る人材の育成—死体検案研修会の研修内容、方法の充実  
を図り、広く医師に対して参加を働きかけ、警察の検視・立会、検案医  
の数を増加させる必要がある。

(2) 警察の死体取扱業務について—警察庁刑事局捜査第一課検視指導室

解剖率は微減傾向、司法解剖数は微増傾向→法医学教室等との協力関係  
を強化、構築していく必要がある

死亡時A iの実施率は微増傾向（病院での死亡前・後のCTは除く）

⇒死亡時画像診断が実施可能な医療機関との協力関係を強化する

(3) 死体検案に関する報酬のありかたについて 細川常任理事

1. 検案料の支払い基準
2. 大規模災害時の検案について、報酬、検案書料金のあり方

今回、検案料の支払い基準を提示し検案・検視立会に従事する医師にアンケ  
ート調査を行う予定。

令和 5 年度

都道府県医師会「警察活動協力医会」学術大会

令和 6 年 2 月 23 日（金）

15：15～18：10

日本医師会 大講堂

第 I 部 基調講演

「大規模災害時の DVI 活動における多職種連携の重要性」

国際医療福祉大学医学部講師 本村あゆみ先生

今回の能登半島地震における検案—法医学者 19 名参加

移動日を含め 5 日間（実働 2 日）

派遣された法医学者は、日本医師会と警察庁の協議で検案 JMAT

として派遣された

海外では法医学活動を、Disaster Victim Identification=DVI と呼称

Phase I：現場での遺体を含めた試料等の採集

Phase II：遺体安置所における放射線検査、体表の観察、解剖による死因 検

索、歯科所見や DNA 資料採取など

Phase III：生前の資料収集

Phase IV：生前（Antemortem）データ、死後（Postmortem）データの照合

Phase V：その報告（検案書作成）

災害時には検案＋身元調査が主要目的⇒多職種による Team

日本にはまだ組織されていない

千葉大学法医学研究センターと国際医療福祉大学医学部法医学教室が

協同して 2016 年から千葉大規模災害時 DVI 訓練として、千葉県医師会、

千葉県歯科医師会、千葉県警察、千葉県防災危機管理部および周辺市町の

担当部署、海上保安庁、他府県法医学関係者が参加して多職種連携訓練を

実施した。災害時の遺体取扱いに関する知識＋スキル向上、見学＋ディスカ

ッションを通じての多職種の役割の相互理解を目的としている。